

# TOC Applications Practitioner Program

## プログラム概要

TOC アプリケーション・プラクティショナープログラム(以下、TOCAPP)は、様々な産業やビジネスにおいて、日々変化する現実の運用環境に制約理論を実装するための知識体系や導入能力の専門性を伝え、高めるための包括的なマルチモジュール TOC プログラムです。

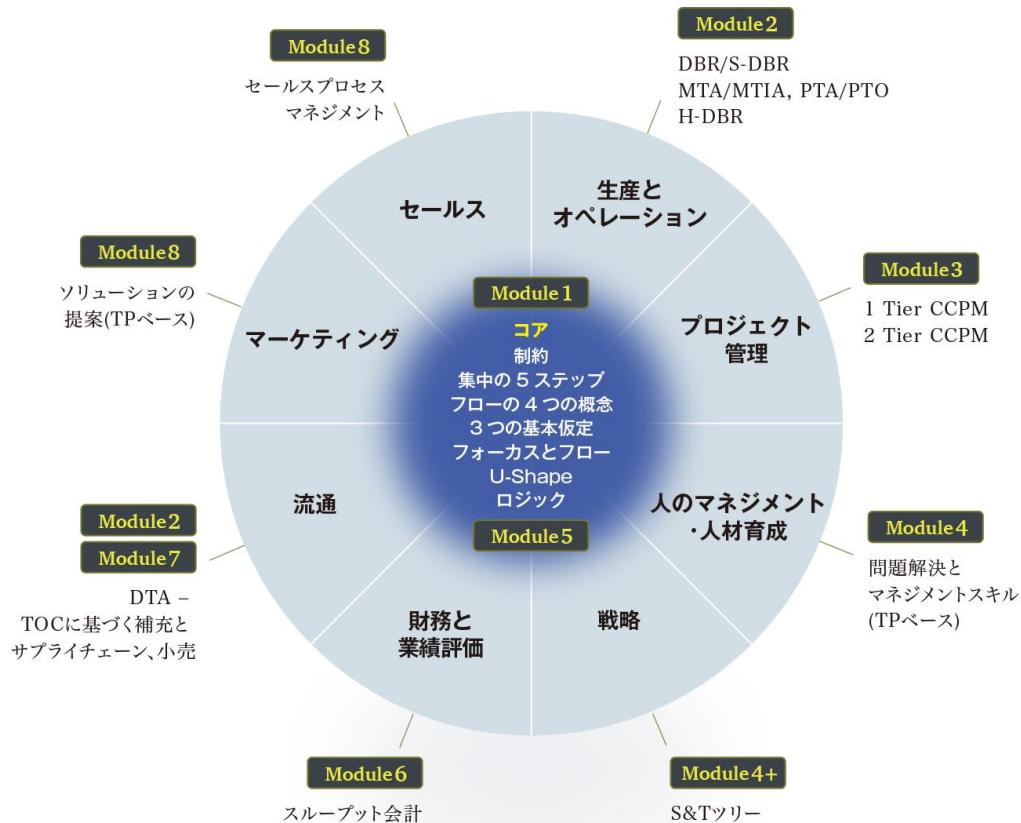
本プログラムは、最新技術やインダストリー4.0 のフレームワークにおいて変化するビジネス環境に制約理論を適用するための知識体系や実装上の専門性を移転し、更にそれらをシステムチックに高めていくことを狙ったものです。

全てのプログラムは 2 日から 6 日間の複数のセッションで構成され、約 30 日間の講義群で成り立ち、筆記認定試験(終日)で締めくくられます。TOCAPP(全モジュール)を修了し、筆記認定試験に合格した方には、TOCPA スクールの国際認定資格(TOCAPP for BREAKTHROUGH GROWTH)が付与されます。

一つ、または複数の特定プログラムを受講したい方も、関心のある分野に応じて、関連性のあるモジュールにご参加いただくことができます。(各モジュールを修了された方には受講修了書を発行します。)各モジュールは、変化するビジネス上の運用環境において、オペレーション、流通、プロジェクトマネジメント、セールス&マーケティング、人材・チェンジマネジメント、戦略と戦術といった TOC ソリューションを実際に適用できるよう、実装上の専門性を共有させていただきだけでなく、関連する適用領域に応じた TOC の知識体系や仕組みを現場へ移転することを目的としています。

TOCAPP の受講者は、ソリューションと導入のためのガイダンスが示されている詳細な教材を受領することができます。各モジュールは、実装上の特定の問題に自ら気付いていただくことを目的としているため、参加者の集中的な参画が期待され、インタラクティブな形で進められます。また、シミュレーターを用いたワーク、実践的な演習問題の解決、計算演習、実際のビジネス環境に基づいた経営的な意思決定の演習を行います。

## TOC サブジェクトマップ



モジュール	所要日数	概要
基本モジュール		
モジュール1	2	制約を軸にしたマネジメント【必須モジュール】
モジュール2	2+2+2	サプライチェーンの整合をとる
モジュール3	2+2	クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント 1 Tier CCPM/2 Tier CCPM
モジュール4	2+2+2	TOC思考プロセス
モジュール5	4	(ソリューション導入前)現状分析(CRS)の実行
	1	プログラム認定試験(筆記)
オプションモジュール		
モジュール4+	3	戦略と戦術(S&T ツリー)
モジュール6	2	スループット会計と経営判断のためのローカル運用指標
モジュール7	2	小売のためのTOCソリューション
モジュール8	2	マーケティングとセールスマネジメント

受講料:70,000 円/日×所要日数(税別)

[受講要件]

- ・原則として、モジュール1を修了していることがモジュール2以降の受講要件となります。
- ・原則として、モジュール2または3のいずれかを修了していることが、モジュール4ならびにモジュール5の受講要件となります。
- ・講義時間 10:00-17:00(モジュール1のみ 9:30-17:30)  
※オンライン開催時は 9:00-18:00 に変更される場合があります。
- ・企業単位での個別開催については、TOCAPP 運営事務局までご相談ください。  
[info@tocpractice-japan.com](mailto:info@tocpractice-japan.com) 0120-897-524

## 各モジュールの概略

### <基本モジュール1-5>

#### モジュール 1: 制約を軸にしたマネジメント(2日間) Managing through Constraints 【必須モジュール】

- ・TOCの「3つの基本仮定」
- ・フローにおける依存性と変動
- ・「制約」:その考え方と種類
- ・「集中の5ステップ」: TOCを用いたマネジメントの意思決定方法
- ・TOCの考え方を実際に適用する: シミュレーションを用いた演習
- ・ビジネスのフロータイプと供給形態
- ・システムを分析する - 製造システムを題材に
- ・「フォーカスとフロー」: 在庫とリードタイムそして生産性の関係
- ・「フローの4つの概念」
- ・U-Shape: 問題分析と解決策構築のための包括的フレームワーク思考

#### モジュール 2: サプライチェーンの整合性をとる(2日間×3回) Aligning the Supply Chain MTO, MTA, PTA, DTA - TOC Replenishment Solution Data Analysis and Modeling

- ・サプライチェーンを管理するための TOC の考え方について理解を深める
- ・生産管理の考え方と技法、様々に異なる生産フロー/環境において、それらを適用した際の影響について(シミュレーターを用いた演習)
- ・MTO(Make to Order - 受注生産)の考え方とその解決策の詳細  
- 8つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- ・MTOで用いる評価指標の重要課題、導入時における典型的な課題

- ・自社の生産計画/実行管理の現行のやり方と MTO の解決策の整合性を取る上での実務上の課題
- ・MTA (Make to Availability - 在庫生産) の考え方とその解決策の詳細
  - 8 つのインジェクション、それぞれのエッセンスと仕組み
- ・MTA で用いる評価指標の重要課題
- ・自社の生産計画/実行管理の現行のやり方と MTA の解決策の整合性を取る上での実務上の課題、在庫生産を行う様々な企業から得た重要な教訓、
- ・MTO と MTA の混合環境の取扱い
- ・生産フローにおける資材管理 - 解決策 PTA (Purchase to Availability) と MTIA (Make to Internal Availability) のインジェクション
- ・TOC 補充ソリューションの考え方と仕組み
- ・DTA (Distribute to Availability) の 10 のインジェクション、エッセンスと仕組み
- ・異なる消費プロファイルに対して在庫バッファの目標レベルを計算する際の課題
- ・SKU の品揃えに関する意思決定
  - キャッシュをキャパシティ制約に見立てる
- ・DTA の解決策を社外の下流リンクに展開する際の課題と潜在リスク、DTA 導入において注意が必要なエリア
- ・MTA と DTA を結合する環境における導入の実務的課題
- ・演習と計算実習
- ・下流のディストリビューションを管理する
- ・データ分析とモデリング

### モジュール 3: クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント(2 日間×2回) CCPM - Project Management the TOC Way

#### Managing Projects the TOC Way

- ・システムを管理する - TOC アプローチ
- ・インジェクションを理解する
- ・プロジェクト環境における TOC の解決策 (CCPM) の概要 (1 Tier Approach, 2 Tier Approach)
- ・マインドセットとセットアップ (パフォーマンス評価指標) - Injection 1
- 1 Tier Single & Simple Project Planning (Base)
  - ・プロジェクトプランニングの概要 - 1 Tier CCPM Injection 2-4
  - ・知識の詳細化:
    - マルチタスキング、クリティカルチェーン、プロジェクト/合流バッファ
- 1 Tier Single & Simple Project Execution Control - Buffer Management
  - ・プロジェクトの実行管理の概要 - 1 Tier CCPM Injection 5-9
  - ・知識の詳細化:
    - バッファマネジメント、継続的改善 (POOGI)
- 2 Tier Single Project Planning (Advance)
  - ・2 Tier Approach の背景
  - ・2-Tiered Planning (2 Tier CCPM -Injection 2) の概要
  - ・知識の詳細化:
    - 2-Tiered Tasks

- Resource Concentration (リソースの集中)
  - 2-Tiered Planning (Staggering - Low WIP)
- Multi-Project Environment - General Concepts
- ・シングルプロジェクト環境からマルチプロジェクト環境への架け橋
  - ・重要なアクション: フリーズ、フルキット、仮想ドラム、スタガリング
  - ・プロジェクトポートフォリオ管理
- 2 Tier Multi-Project Environment
- ・マルチプロジェクト環境の定義
  - ・Game 演習を通じて、マルチプロジェクト環境を理解
  - ・2 Tier CCPM の概要
  - ・素早い改善 - 2 Tier CCPM Injection 1-5
  - ・知識の詳細化:
    - 2-Tiered Planning (Staggering - Low WIP)
    - IP Task Management (進行中タスクの管理)
    - Queue Tasks Control (待ちタスクのコントロール)

## モジュール 4: TOC思考プロセス(2日間×3回) TOC Thinking Processes

- ・ロジックに基づくマネジメントを始める
  - 「意思決定」と「解決策の構築」の違い
  - 解決策の構築のために TOC が取り組む「論理クラスタ」
  - コアとなる TOC 論理ツール - クラウドとその種類
  - クラウドを記述する際の 6 つのルール
  - アサンプションを書く際の典型的な 5 つの間違い
  - 適切なアサンプションを書き出す手順 - 4+2 ルール
  - インジェクションの構築手順
- ・システムを分析する
  - 「好ましくない結果(UnDesirable Effect: UDE)」を正しく記述するためのルール
  - UDE クラウドの構築方法とチェックの仕方
  - UDE クラウドを構築する際の典型的な間違いとその防止策
  - UDE クラウドを統合するための詳細ルール
  - 有効な統合プロセス
  - 統合クラウドを用いて関係者とコミュニケーションをとる
- ・解決策に対する懸念に対処する - NBR と IO マップ
  - 提案された解決策のリスクに対処する
  - ネガティブ・ブランチの構築方法
  - 挙げられた障害を導入計画に変換する
  - 中間目標マップ(IO マップ)の構築方法
  - 克服方法が分からない障害に対処する方法
  - 複数のインジェクションからなる解決策の導入計画

モジュール5: (ソリューション導入前)現状分析(CRS)の実行(4日間)  
Before the Implementation – Conducting Current Reality Study of the  
environment and working with Strategy and Tactics Trees

- ・現状分析(CRS)の目的
- ・現状分析(CRS)の際に何を質問すべきか、データをどのように解釈すべきか、企業に適用するロジスティカルソリューションのタイプをどのように見分けるか
- ・異なる種類の S&T ツリーとそれらの目的
- ・移行 S&T – 目的や構造をいつ使うか、移行 S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- ・コンテンツ S&T – 目的や構造をいつ使うか、コンテンツ S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- ・組織的な S&T – 目的や構造をいつ使うか、組織的な S&T の構成要素を満たすための実践的なヒント
- ・TOC 導入における新しい手続きの必要性を説明するために S&T ツリーパターンを使用する

<オプション モジュール 4<sup>+</sup>, 6–8>

モジュール4<sup>+</sup>: 戦略と戦術 / S&T ツリーの構築(3日間)

準備中

モジュール6: スループット会計と経営判断のためのローカル運用指標  
(2日間)  
Throughput Accounting and Local Operational Indicators for Managerial  
Decisions

- ・TOC 運用上の測定指標を適用する上での実務上の問題点
  - 意思決定のためのスループット(T)、投資(I)、操業経費(OE)
- ・スループット計上ポイントの決定に関する課題
- ・論理上のバッファとマネーバッファの関係
- ・典型シナリオの演習
- ・実装時の実務的な問題として、TOC ロジスティカルアプリケーションのためのローカル運用指標を策定する



## モジュール 7: 小売のためのTOCソリューション(2日間) TOC Solution for Retail

- ・小売のための TOC 補充ソリューションの概念と仕組み
- ・異なる消費特性に対する在庫バッファの目標レベルを計算する上での課題
- ・TOC を用いたカテゴリーマネジメント
- ・演習と計算

## モジュール 8: マーケティングとセールスマネジメント(2日間) Marketing and Sales Management the TOC Way

- ・TOC の側面から見たマーケティングとセールスの役割
- ・市場セグメント
  - － 顧客ポートフォリオの構築と顧客セグメントにおける中核問題の決定  
(顧客 UDE と UDE クラウドの取扱い)
- ・価値提案(マフィアオファー)と営業ソリューションの概念
- ・価値提案のための主要な TOC テンプレート
- ・コンバージョンと営業プロセスを管理するために時間バッファとリードバッファの組合せを使用する
- ・受注処理からアクティブセールスに転換する際、セールスマンが抱える課題
- ・営業プロセスにおけるローカル運用指標(LOI)実装後に営業マンの評価指標を変更する必要性

---

■本プログラムに関するお問い合わせ先

TOCPA Japan(TOCAPP 運営事務局) [info@tocpractice-japan.com](mailto:info@tocpractice-japan.com)  
0120-897-524